



7月 調布幼稚園だより

令和7年6月30日



『日本の文化を大切に』

園長 山形美津子

梅雨に入ったかと思うと急な気温上昇の日があったり、不安定なお天気が続いています。雨の合間を縫って外に出て色水遊びをしたり、舟を浮かべたりなど、工夫して遊びを楽しんでいます。

梅雨の季節になるといつも思い出す歌があります。童謡『あめふり』です。♪あめあめふれふれ かあさんが じゃのめでおむかえうれしいな…という歌です。北原白秋の作詞ですが、おかあさんのお迎えを待つ子どもの心情がとてもよく表れていて、親子の温かい心の交流を感じる歌です。「じゃのめ」は、和傘の一種ですが、現在では高級傘になっています。開いたときの丸い輪の模様が蛇の目の似ていることからそう呼ぶようになったということです。日本の童謡には、日本の文化を伝えているものが多くあります。日本の文化を大切にする意味でも歌い継いでいきたいものだと思っています。

先日、年長組がプラネタリウムの見学をしてきました。その時にもプラネタリウムのプログラムの中で『夕焼け小焼け』『たなばたさま』の歌を歌いました。子どもたちは歌詞をしっかりと覚えていて上手に歌っていました。

プラネタリウムでは、星の世界の話を知ったり、実際にプラネタリウムのドームに映し出される沢山の星を見たりしました。解説の方が「さあ、今からみんなで宇宙の旅に出かけますよー」と言ったら、本当に宇宙に行くのかと思った子どももいたようで緊張する様子が見られました。皆、マナーをしっかり守って、年長らしい態度で見学ができました。バスの中での過ごし方や駒沢公園でのお弁当の時など園外に出かけると、園での生活で学んだことが発揮され、子どもたちの成長の姿がよく見えました。

年中組はクラスや学年でいろいろなゲーム（金貨とり、ハンカチ落としなど）をする中で、みんなで一緒に活動する楽しさを味わったり、今までかかわっていない友達ともかかわり友達関係も広がってきたように思います。また、各部屋に置かれている中型積み木や段ボールの教材などを使い、友達と一緒にごっこ遊びが盛んに行われています。

年少組も入園から3か月が過ぎて、園での生活の流れが分かってきて、身支度など自分から取り組もうとしています。好きな遊びでは、同じ場で遊んでいる友達の名前を覚え始め、名前を呼び合いながら遊ぶ姿も見られます。また、みんなで一緒に歌ったりリズム遊びをしたりして、楽しめるようになってきました。先生のお話もよく聞くことができるようになってきました。

1学期の生活もあとわずかになりました。どの学年の子どもたちも一步一步着実に成長してきた様子が見て取れ、嬉しく思います。後日開催します「スライドショー」においてもその姿を紹介したいと思います。

7月19日からは夏休みに入ります。ご家庭でもお子さんの成長した姿にたくさん気付かれることでしょうか。長い夏休み、お子さんのいいところ探しをしながら一緒に楽しく過ごしていただければ幸いです。

☆『春の親善バレーボール大会』☆

準優勝 おめでとうございます！！

6月2日、春の親善バレーボール大会で調布幼稚園バレーボール部が準優勝という素晴らしい成績を納めました。日々の練習の成果を見事に発揮されました。心よりお祝い申し上げます。子育ての時間を離れて生き生きと活動していらっしゃる姿がとても素敵でした。



保護者の皆様、地域の皆様には、この一学期間たくさんのご支援とご協力を頂きました。深く感謝申し上げます。

7月の目標

全学年

- 季節の変化を感じ、様々な栽培物の生長に興味をもったり、収穫したりすることを楽しむ。
- 熱中症予防に関心を持ち、日陰で遊んだり、水分を十分に摂ろうとしたりする。
- 七夕を通して飾りを丁寧に製作し、みんなで笹に飾る楽しさを味わう。

年少組

- 自分の好きな遊びを見付けたり、周りにいる友達に親しみをもったりして、かかわりを楽しむ。
- 水のペンキ屋さんや洗濯ごっこなど、水の気持ちよさを感じ、水遊びや夏ならではのいろいろな水遊びを楽しむ。
- 暑い日の過ごし方を知り、汗をかいたら自分でハンカチで拭いたり、水を飲んだりする。

年中組

- やりたい遊びをする中で、思いついたイメージを教師と一緒に実現したり、自分で作った物や場で友達とかかわって遊んだりする。
- 身近な廃材や材料を使って舟づくりを楽しみ、浮かべる中で素材の性質に気付き、試行錯誤する楽しさを味わう。
- 色水の混色や色の変化、シャボン玉が風に吹かれる様子、泡を立てる遊びの面白さなど、夏の遊びを楽しんだり、砂場で水を使って教師と一緒にダイナミックに遊んだりして解放感を味わう。

年長組

- 友達と遊びを進めていく中でイメージを共有し、友達とのつながりを感じながら遊びに必要なものを作り、作ったものを使って、十分に遊び込む。
- こども広場を通して、自分たちが一生懸命頑張ったことによって、未就園児や年少組、年中組にも楽しんでもらったという満足感を味わう。

命を守る！ ～避難訓練・熱中症予防～

○毎月、避難訓練を実施していますが7月は今年初めての「火災」を想定した訓練でした。火災時は地震時とは異なり煙から身を守るためにハンカチで口を覆うことや、煙は上へ上がっていくため体を低くして避難すると良いことなども指導しました。また、2階にいる時には非常滑り台で避難する場合もあるため、2階での活動が多い年中組と年長組は避難訓練の日までに全員が非常滑り台を使って避難する練習を終え、今回の訓練では1クラスのみ非常滑り台を滑って避難しました。さらに、火災が起きた方向によって逃げる方向が違っても学んでいきます。また、不審者侵入を想定した訓練も行いますが、大人の訓練とは異なり、怖がらせ過ぎないように、「どこから来るか分からない」ということに重点をおき、命を守るための行動について、子どもたちと考える機会にしています。



○熱中症予防のために

幼稚園では環境省と文部科学省が合同で出している「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」を参考に熱中症対策を進めています。気温の上昇が予想される日には、子どもたちの登園前に暑さ指数をWBGT(熱中症指標計)を使って測定しています。暑さ指数とは、人間の熱バランスに影響の大きい【気温・湿度・輻射熱】の3つを取り入れた温度の指標です。WBGTの数値が31を超える場合、運動は原則中止のため外遊びは行いません。体の小さい園児は大人よりも地面に近いので、登園前だけでなく、外に出る前に測定をして確認したり、遊んでいる途中でも教師が適宜計って確認しています。また、測定値が31を超えない場合でも外遊びを中止することもあります。何よりも子どもたちの安全を第一に考えて進めています。

